

たしろ ふうりゅう

田代の風流（福岡県指定無形民俗文化財）

- 1 日時 令和元年12月8日（日）
《出発》13時～ 《太鼓打ち始め》13時30分～
《大名行列》14時～
- 2 場所 八女市黒木町田代・中田代製茶工場（太鼓打ち）
中田代～八龍神社（大名行列）
- 3 観覧料 無料
- 4 行程 八女I.C.から車で約50分
臨時駐車場 元田代小学校跡地・田代運動公園
- 5 連絡先 八女市役所 文化振興課文化係
(TEL) 0943-24-8163（直通）

6 概要

初冬の田代路に、おしろいを塗って扮装した奴姿やっこの男衆が大名行列を従え道中を練り歩く「田代の風流」が、12月8日に開催されます。

この祭礼は、安永2（1773）年、柳河藩第7代藩主の立花鑑通公あきなおが、八龍神社の再建を命じ、自ら大名行列を従えて奉納したことに由来します。

今年の大名行列は中田代地区からの出発で、横笛や太鼓・小鉦こがねを打ち鳴らし、愛嬌を振りまき道中文句をはやしたてる道化役の「はさみ箱」、4m余りの毛槍けやりを投げ渡す「人柱壁にんじべい」など、50名ほどが八龍神社に向かいます。

当日は、御輿にお賽銭を投げ入れ無病息災を祈願しながら神輿をくぐる参観者も加わり、一帯は、江戸時代にタイムスリップしたような風情に包まれます。

